

愛川ボラ連だより

第2号 平成20年10月発行
 愛川町ボランティア連絡協議会
 愛川町角田257番地の1
 (町社会福祉協議会内)
 ☎ 046-285-2111



東芝科学館

東芝科学館に研修視察

平成20年10月4日(土) ボラ連会員27名で

研修視察に参加して

個人ボランティア 成瀬光枝

今年の行き先は、川崎市にある「東芝科学館」でした。一行は天気恵まれ、久しぶりに会った仲間との話しにも花が咲き「子供達の遠足よりも楽しんでますね」との声もあがるほど、「親睦」「ふれあい」を十分に満喫しながら川崎へ向いました。



屋台村風景

お客さんから美味しい。珍しい。香辛料がだいぶ違う。匂いがよい。味付けが違う。これだと口に合う。いや合わない。など様々な意見のほかに、「外国人と初めて話しをした。」という人まで、多くの人が交流を楽しまれたようです。

第二十五回愛川町勤労祭
 「野外フェスティバル」に参加して

国際交流クラブ

鷹取 徳

当クラブが窓口となり、ドミニカのメレンゲ(ダンスや、ペルー、ブラジル、タイ、ベトナムの計四ヶ国で五店舗の模擬店を、国際交流屋台村として出店させる企画から、初めて参画しました。例年に無い天候異変が続く中、8月31日、内陸工業団地内の一角で開催されました。最初は多少不安でしたが、振り返ってみると、大いに盛り上がった一日となりました。



ドミニカ共和国のメレンゲ

メレンゲは、カリブの華やかさをアピールでき、各国の屋台は、珍しさが伴ったのか、終わってみると完売状態になっていた。ほんとに、ホッとした気持ちです。フェスティバルには、多くの外国人も参加しました。
 この様な機会を通し、お互いの交流を深め、お互いをより良く理解し合うことが今後とも必要なことだと思います。
 愛川町は、それがかなう日本でも数少ない町だと誇りに思っています。

表彰者紹介
 10月16日(木)、平成20年度神奈川県社会福祉大会で表彰されました。

神奈川県社会福祉協議会会長感謝
 ボランティア功労者 (敬称略)
 (マジッククラブ) 阿部久蔵
 (レクリエーションクラブ)
 (かえでの会) 熊坂ミヨ子
 原田靖子
 10月18日(土)、平成20年度愛川町社会福祉大会で表彰されました。

愛川町社会福祉協議会表彰
 善行者表彰 (敬称略)
 (味彩会)
 (かえでの会)
 (国際交流クラブ)
 柳川秋子
 荻田桂子
 伊東京生
 高橋富照

編集後記

今年の夏は猛暑から一転して各地で激しい豪雨に見舞われましたが、9月に入りやっと秋空が戻ってきました。
 会報も平成20年3月に創刊し、多くの方々の協力を頂き、第2号を発行することが出来ました。今回は伝統ある「ふれあい広場」を主テーマにし、当日は大きなイベントなので各団体の皆さんに利用者の声を取材して頂き、限られた紙面での表現を編集者一同で検討して仕上げました。
 今後、さらに読み易く、親しまれる様に努めて参ります。
 会報を通じてボラ連内の情報共有化と新しい会員の増加にお役に立てば幸いです。(Y・E)

万年時計



「江戸時代の技術力・独創性の高さ」
 からくり人形・万年時計共、東芝創業者「田中久重」作

の液体窒素が素になっています。
 一階は最先端技術の紹介コーナー。最新のパソコン類を始め、水が不要な洗濯機、10年間手入れ不要な掃除機等の展示がされていました。
 三階は創業者である「田中久重」「藤岡市助」の業績紹介コーナー。私達の日常生活にかかせない電化製品が開発された当時の形で展示されています。

現在の物と比べると、どんなに研究、改良されたかがわかります。真空管プレーヤーからは、当時の音楽が聞こえてきました。感動したのは、掃除機のゴミ袋が当時もリサイクル式になっていた事。物を創る基本はいつでも変らないのでしょうか。変わった所では、からくり人形も沢山展示してあり、生活必需品だけではなく遊び心も忘れないと言う事でしょうか。
 時間が過ぎるのも忘れる程熱中して、楽しみながら、科学の進歩の素晴らしさを考えさせられた研修視察の一日となりました。

からくり人形



ロボットの原点「からくり人形」
 田中久重(からくり義衛門)作

東芝科学館は工場に隣接しており、JR川崎駅から車で10分ほどの場所にあります。街中にもかかわらず、周囲を大きな樹木で囲まれ、広大な敷地の為か、とても静かでした。一九六一年に創設され展示物は一階から三階まで一〇〇ヶの事。
 館内の見学者は少なくゆったりとした中で、案内を受けました。一階は「環境」「エネルギー」に関するコーナー。原子力発電装置、人工雷発生装置等。静電気発生装置では、行った仲間二人が体験しました。
 圧巻は、磁気浮上現象の超電導装置。リニアモーターカーが走る原理です。どんな現象が起きるか皆真剣な顔で見学。結果に「なるほど」と改めて納得しました。マイナスイ九六℃



平成20年度ふれあい広場



『友情の輪を広げて』 テーマ

9月13日(土)

愛川町田代運動公園にて
交流ゲーム等で楽しみました。



缶つみ



ピエロのボール投げ



大声コンテスト



とん汁とおにぎり

笑顔でふれあい
楽しい交流



魚つり



ペットボトルボーリング



日発太鼓



引き馬



ニッパツニッキ軽音楽部



ストラックアウト

「ふれあい広場」は、障がいのある人もない人も、みんながぬくもりと生きがいを見いだせる「福祉の町づくり」福祉風土づくりをめざし、毎年開催され今年で27回目になりました。

運営は、ボランティア団体、福祉団体、企業、労働組合の皆さんと協力をして、各種ゲームや模擬店を企画し、昨年の反省から暑さ対策としてテントの数を増やし、お休み処を設置するなど工夫をしながら準備をしてきました。

幸い当日は、晴天に恵まれて暑いぐらいでしたが、参加者のみなさんが夢中でゲームに興じる姿や、いい笑顔で微笑む姿をみて、ゲームを担当した私たちスタッフもうれしく元気をもらいました。

参加者、スタッフが一緒に楽しくふれあう様子が見受けられ、また、参加された企業、労働組合の若い皆さんを頼もしくも感じました。

ボランティア連絡協議会では、「暖かい地域社会づくり」のために出来る事はいっぱいあります。協力して頑張っていきたいと思います。

当日の様子と会場で聴いた参加者の声をまとめてみました。

愛川町ボランティア連絡協議会
副会長 遠藤 幸夫

参加者の声

- ・懐かしい幼なじみに60年ぶりに会い昔話に花が咲きました。
- ・目が不自由だけど手探りで缶を8個積み上げたよ。
- ・歩け歩けに参加しながら他のゲームにも参加することができ一石二鳥。
- ・大声をだしてストレス解消に。
- ・あやとり糸が短くあと10cm長くしてほしい。
- ・孫に昔の遊びを教えてやりたい。
- ・ストラックアウトで身障者の方が最後の一球で中央5番を当て抜き、スタッフの姿も素晴らしかった。
- ・魚つりいろいろキャラクターがあつて面白い。
- ・とん汁とおにぎりがあった。
- ・ブラックボックス一瞬とまどいがあつたがドキッとして面白いゲームだった。
- ・綺麗な折り紙のコマをお土産にもらつて嬉しい。
- ・暑いので時期を検討してください。
- ・子供も気軽にでき、喜んでいきます。
- ・遊ぶだけでなく作る楽しさもある。
- ・良い企画です。
- ・ボールリレー難しいけど楽しかった。
- ・帰って親につくってもらおう。
- ・お休み処のテントがとてもよかった。



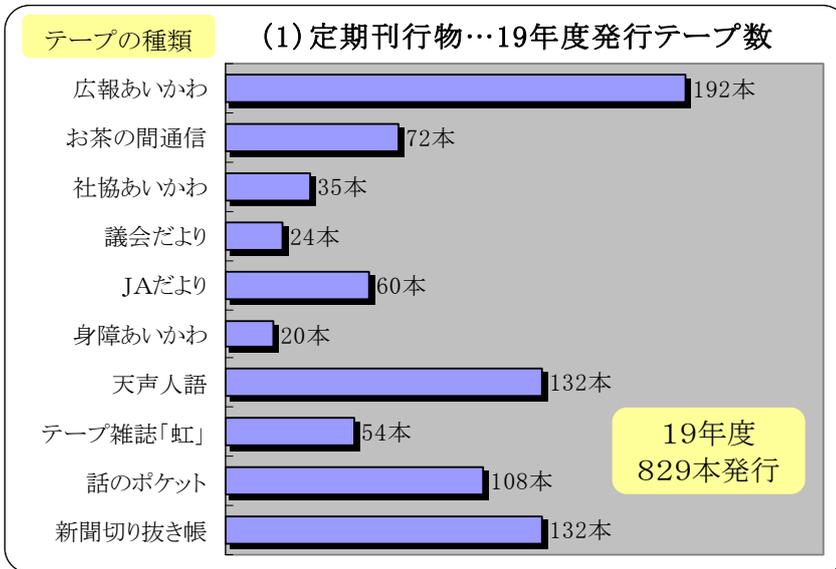
愛川町録音ボランティアグループ 「かえでの会」

連絡先 社会福祉法人 愛川町社会福祉協議会 ☎285-2111(内線 3793)
愛川町録音ボランティアグループかえでの会会長 佐藤淳子 ☎286-2876

かえでの会は、視覚障がい者(読者)を対象に、録音テープの作成と貸し出しを行っているボランティアグループです。昭和56年(1981)6月に発足し、今年で28年目になります。会員は音声訳基礎講座を修了したメンバーで構成され、毎月1回の定例会を開き、現在26名で活動しています。

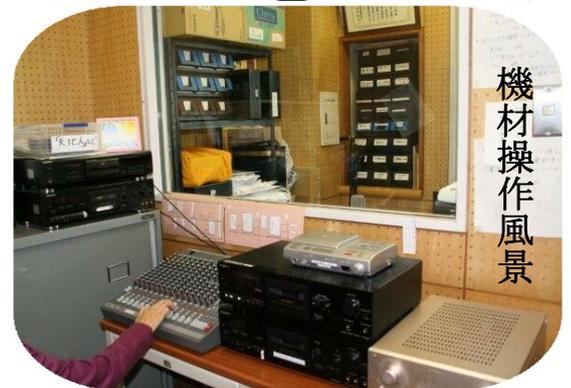
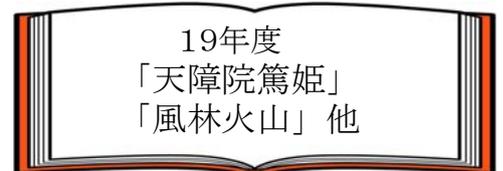
活動内容

1. 録音テープの作成と貸し出し



(2) プライベートサービス

読者からのリクエストに応じて
図書のリクエストに応じて
図書のテープ化



2. 年2回の読者と会員の交流会開催

半原老人福祉センターで、お弁当と会員の作った豚汁等を囲んで楽しい催しとゲームやカラオケ

春

近隣へ楽しいバス旅行

- ・19年度は小田原かまぼこ博物館で、かまぼこ作り体験
- ・20年度はみかん狩り

秋

3. 会員の研修

- (1) 音声訳の技術向上のための研修
- (2) 録音機材の習得… 20年度はデジタル録音機材とパソコン操作に挑戦中
- (3) 県ライトセンターや県録連主催の諸研修への参加



《皆様へのお願い》

もっと多くの方々に私達の作成したテープを聞いていただきたいと願っています。目の不自由な方で、テープを聞いてみたい方をご紹介下さい。

ボラ連
活動紹介
第2回

マジック愛川クラブ



連絡先 ☎285-0352 井上まで

趣味で始めたマジックを披露することでボランティアを行っています。会の設立から24年になり、月2回の例会は講師を招いて技術の向上を図っています。会員は15名程で、皆楽しく活動しています。愛川町のボラ連、文化協会に加盟し福祉・文化団体として活動しています。町外でも県央マジック連盟の活動等、幅広い場をもっています。写真で私たちの活動の一環をご紹介します。



◆ ふれあい広場にて ◆



◆ ステージが終わってフィナーレ ◆



◆ 海老名マジッククラブの仲間と ◆



◆ 皿回しが十八番です ◆



◆ プロダクションがお得意 ◆



◆ 色々と工夫するのが好きです ◆



◆ お客さんにあわせて演技します ◆



◆ 人気の高いケンちゃんと ◆



◆ 丁寧な演技が光っています ◆

自分も楽しみながら、ボランティアができる。それがマジック愛川クラブです。
例会は毎月第1、3水曜日の午後7時30分から9時までです。
会場は、愛川町福祉センター3階、講師は、県央マジック連盟顧問の落合重幸氏。
年会費 2,000 円。例会出席ごとに 1,000 円となります。